

EMS ニュースの第 26 号をお届けします。

前号 (25 号) からの続きです。

アメリカで、AHA (米国心臓協会) はテレフォン CPR のガイドラインを 2012 年に発表しました。アリゾナ州での研究では、テレフォン CPR の導入前と後を比較すると、心停止患者が救命されて退院する割合は、7.9%から 11.2%と、42%増加したということです。



Journal of
Emergency
Medical
Services

Telephone CPR can optimize bystander action in out-of-hospital cardiac arrest

バイスタンダーによるテレフォン CPR が病院外での心肺停止者を救う - その 2

TCPR プログラム

米国には PSAPs=Public Safety Answering Points (ほぼ日本の救急 119 番に相当) の受信センターが約 6000 ある。州政府により運営され、行政の公共安全部門や独立救急サービス機関、警察、消防機関、医療施設等々と運営形態はさまざま。受信センターが通報を受けてどう処理するかは米国では標準化されていない。ほとんどの地域では、まず一次的 PSAPs で受信されたあと、特別な訓練を受けた二次的 PSAPs に回される。または、全ての電話通報は一次的 PSAPs で処理される。成人の心停止 CPR の場合、胸骨圧迫のみでよいとすることを 2012 年に全国に通告が出されている。それでもガイドラインと現場の実践の間には開きがある。TCPR 指示に関する全国規模の調査では、回答した 1924 の PSAPs のうち、救急車到着前の指示を与えたのは 51%で、胸骨圧迫のみの指示を出すのは 3%に留まった。

効果的な TCPR プログラムのあるコミュニティでは、個々のケースをオペレーターにフィードバックし、プロセスを評価し、Chain Of Survival (救命の鎖) 全体のデータと連動させてプログラムを向上させている。プロセスの評価は院外心停止 (OHCA=Out-of-Hospital Cardiac Arrest) の各ケースの音声録音から次の指標で評価している。

1. オペレーターは OHCA が起こっていることを認識したか。
2. オペレーターは CPR の指示を開始したか。
3. 医療訓練のないバイスタンダーはオペレーターの指示通り胸骨圧迫を始めたか。
4. 救急医療センターで通報を受けてからオペレーターが OHCA に気づくまでどれだけ時間が経過したか。
5. 通報を受けてからオペレーターが CPR の指示を開始するまでどれだけ時間を要したか。
6. 通報を受けてから通報者がオペレーターの指示で CPR を始めるまでどれだけ時間を要したか。

音声録音の評価は医療の質を向上させ、OHCA の結果に TCPR がどれだけ影響があったかを見るのに欠かせない。2001 年、ワシントン州キング郡の調査によれば、バイスタンダー CPR で OHCA 患者の生存率が向上し、オペレーターの指示のある TCPR ではさらに生存率が上がった。アリゾ

ナ州でもキング郡の例にならって、TCPR の質的向上のプログラムを実施した。その結果、州全体のデータを分析すると、やはり同様の好結果が得られた。これらのケーススタディーは、電話で指示を受けた未経験のバイスタンダー CPR が、訓練されたバイスタンダー CPR と同様に効果的である可能性を示している。音声録音を分析評価するのは時間のかかる作業だ。

しかしこれは重要なことであり、119 番のコールセンターの基本的なプロトコルの一部に組み込まれるべきだろう。

PSAPs によっては心停止通報を年間数百回受ける可能性もある。一つ一つの監査経費が高額になるのが問題だが、解決策もある。

TCPR の実績効果測定のために、一定の期間内で監査するサンプル数を決めればよい。この方法は、今必要なことへ焦点を当てることができ、プログラムの質的向上の努力を開始できる効率的な方法である。

www.mycares.net では無料でデータ収集のツール、用語辞典、データ収集に関するウェビナーなどを提供している。

結論

全国的に、TCPR の活用度はまだ高くないようだ。だが、TCPR は蘇生の可能性を向上させることは明らかだ。スマートフォンを含め、通信インフラは整備されているため、わずかな資本投資しか必要としない。米国医学研究所 (National Academy of Medicine) は TCPR の全国的なプロトコルと標準的なトレーニング・プログラムの開発が推奨している。

ガイドラインに則ったプロトコルの下で、適切な訓練を受けたオペレーターは、効果的に OHCA を特定し、通報者に冷静で力強い指示を与え、バイスタンダー CPR を開始させることができる。

オペレーターたちは、訓練されていない通報者に効果的な CPR を実施させ、毎年多くの街で何千もの人命を救う可能性を秘めている。



(JEMS December 2015, P.10 When Life's on the Line より抄訳)

サムスリング II の使用上の注意



- ポケットに入っているもの、お尻の周りにあるものを排除する。
- ベルト (ブラック) とハンドル (オレンジ) を水平に逆方向へ引っ張る。水平に引かないと適正な力が掛からない。
- クリック音がしたら、ベルトをスリングにくっ付ける。
- クリック音の時にバックルが凹み爪が現れて、ベルトをくっ付ける時にバックルが戻り爪が隠れ、ベルトが少し戻るが、気にしない。(バックルは固定ではなく、適正な力を教えるためにある。)
- 装着したまま、レントゲン・CT・MRI 撮影をすることができる。

バックル



あとがき

JPTEC の講習会で、サムスリング II を取り上げるようになりました。デモ品の貸出し依頼が増えています。貸出し用のサムスリング II を準備していますので、必要な際は連絡ください。

担当: 高橋

Email: takahashi@accord-intl.com

FAX: 03-3299-6752

代表取締役 山本博太

アコードインターナショナル株式会社

151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-9-4-1005

TEL:03-3299-6751 FAX:03-3299-6752

e-mail: Accord@accord-intl.com http://www.Accord-INTL.com

